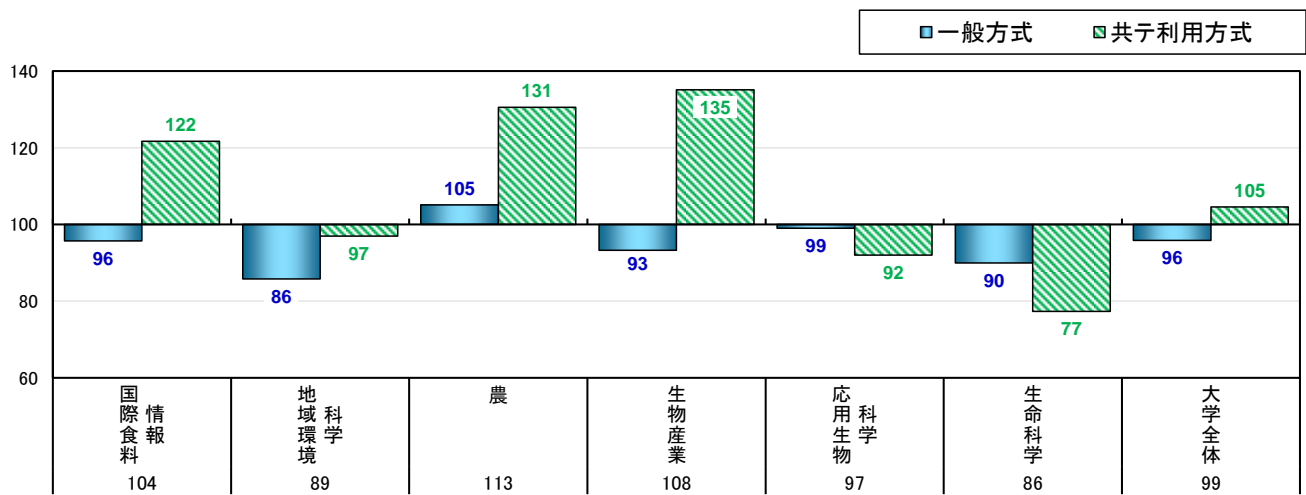


東京農業大：大学全体では5年連続減少。共テは前期新方式導入でやや増加 一般：-624人 共テ：+331人



主な入試変更点

選抜方法：〈共テ・前期2科目型〉新規実施…全学科（(応用生物科学／醸造科学)を除く）
 募集人員：国際食料情報(国際農業開発)…〈一般・A日程〉86人→76人、(食料環境経済)…〈一般・A日程〉100人→91人
 (国際バイオビジネス)…〈一般・A日程〉86人→76人、(国際食農科学)…〈一般・A日程〉60人→53人
 地域環境科学(森林総合科学)…〈一般・A日程〉75人→65人、(生産環境工)…〈一般・A日程〉78人→68人
 (造園科学)…〈一般・A日程〉75人→66人、(地域創成科学)…〈一般・A日程〉60人→55人
 農(動物科学)…〈一般・A日程〉80人→65人、(農)…〈一般・A日程〉90人→80人
 (生物資源開発)…〈一般・A日程〉72人→65人、(デザイン農)…〈一般・A日程〉70人→63人
 生物産業(食香粧化)…〈一般・A日程〉45人→38人、(北方園農)…〈一般・A日程〉43人→40人
 (海洋水産)…〈一般・A日程〉41人→38人
 応用生物(農芸化)…〈一般・A日程〉96人→91人、(食品安全健康)…〈一般・A日程〉96人→86人
 (栄養科学)…〈一般・A日程〉76人→71人
 生命科学(バイオサイエンス)…〈一般・A日程〉95人→90人、(分子生命化)…〈一般・A日程〉93人→80人
 (分子微生物)…〈一般・A日程〉92人→88人
 入試科目：国際食料情報(国際農業開発)
 〈共テ・4科目型〉…理+外+(国 or 歴 or 数① or 数②)→2 ※理：化 or 生 ※選択は1教科から1科目に限る
 →外+(国 or 数① or 数②)+(歴 or 理)→2 ※理：物 or 化 or 生 or 地学 ※選択は1教科から1科目に限る
 〈共テ・3科目型〉…理+外+(国 or 歴 or 数① or 数②) ※理：化 or 生
 →外+(国 or 歴 or 数① or 数② or 理)→2 ※理：物 or 化 or 生 or 地学 ※選択は1教科から1科目に限る
 地球環境科学(生産環境工)〈共テ・3科目型〉…理+外+(国 or 数① or 数②)→外+(国 or 数① or 数②)+(地歴 or 理) ※地歴：地理
 農(動物科学、生物資源開発)〈共テ・3科目型〉…理+外+(国 or 数① or 数②) ※理：化 or 生→理+外+(国 or 数① or 数②) ※理：物 or 化 or 生
 (農)〈共テ・3科目型〉…理+外+(国 or 数① or 数②) ※理：化 or 生→理+外+(国 or 数① or 数②) ※理：物 or 化 or 生 or 地学
 生物産業(自然資源経営)
 〈共テ・4科目型〉…理+外+(国 or 歴 or 数① or 数②)→2 ※理：化 or 生 ※選択は1教科から1科目に限る
 →国+外+(歴 or 数① or 数② or 理)→2 ※理：物 or 化 or 生 or 地学 ※選択は1教科から1科目に限る
 応用生物(醸造科学)
 〈共テ・4科目型〉…理2+外+(国 or 数① or 数②) ※理：化+生→理2+外+(国 or 数① or 数②) ※理：(物 or 化 or 生)→2
 〈共テ・3科目型〉…理+外+(国 or 数① or 数②) ※理：化 or 生→理+外+(国 or 数① or 数②) ※理：物 or 化 or 生

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、293人(99)の微減だが5年連続減少。方式別では、一般方式は624人(96)のやや減少で5年連続減少。ただし、募集人員(募集人員の前年度対比指数91)が減少したことで志願倍率は8.0倍→8.4倍にアップ。共通テスト利用方式は(応用生物科学／醸造科学)を除く全学科で〈前期2科目型〉を新規実施したこともあり331人(105)のやや増加で2年ぶりの増加。しかし、新規実施の〈前期2科目型〉を除くと(72)の大幅減少。方式別では、〈後期〉(59)、〈前期4科目型〉(71)、〈前期3科目型〉(73)といずれも大幅減少。共通テスト受験後に出願可能なため、共通テストの平均点ダウンの影響を強く受けた。

〈一般方式〉

- 国際食料情報(96)は、前年度大幅減少の反動はなくやや減少だが、募集人員(募集人員の前年度対比指数90)も減少で、志願倍率は5.8倍→6.2倍にアップ。学科別では、前年度全ての学科で大幅減少だったが、反動により増加したのは前年度ほぼ半減だった(国際農業開発)(133)のみで、他の3学科は引き続き減少。
- 地球環境科学(86)は、3年連続減少。志願者数は2,000人を下回った。学科別でも4学科全てが減少。特に(生産環境工)(74)、(地域創成科学)(84)は大幅減少。一方で、減少した学科のうち、(森林総合科学)(91)は募集人員(募集人員の前年度対比指数88)も減少のため、志願倍率は7.5倍→7.9倍にアップ。造園科学(93)も募集人員(募集人員の前年度対比指数89)の減少で、志願倍率は6.2倍→6.4倍にアップ。
- 農(105)は、3年連続大幅減少の反動は小さくやや増加に留まった。学科別では、4学科中3学科で増加、特に(動物科学)(117)は大幅増加で、志願倍率は募集人員(募集人員の前年度対比指数83)の減少もあって7.8倍→10.9倍にアップ。(デザイン農)(89)のみ前年度大幅増加の反動で減少。

- 生物産業(93)はやや減少で8年連続減少。学科別では、(食香粧化)(127)は大幅増加で4学科中唯一増加、志願倍率は募集人員(募集人員の前年度対比指数86)の減少もあって3.3倍→4.9倍にアップ。一方で、他の3学科はいずれも減少で、特に(自然資源経営)(60)は3年連続大幅減少。(北方圏農)(96)はやや減少だが、募集人員(募集人員の前年度対比指数94)も減少したため、志願倍率は3.7倍→3.8倍にわずかにアップ。
- 応用生物科学(99)は、微減だが2017年度の改組後、5年連続減少。ただし、募集人員(募集人員の前年度対比指数95)も減少で、志願倍率は9.0倍→9.4倍にアップ。学科別では、前年度4学科全てで大幅減少したが、反動は小さく、(栄養科学)(110)が増加、(醸造科学)(106)がやや増加したに留まった。減少した学科のうち、(食品安全健康)(91)は3年連続減少だが、募集人員(募集人員の前年度対比指数90)も減少で志願倍率は9.1倍→9.2倍にわずかにアップ。(農芸化)(94)はやや減少で2年連続減少。
- 生命科学(90)は、前年度大幅減少の反動はなく減少。学科別では、(分子生命科学)(78)は2年連続大幅減少、(分子微生物)(88)は2年連続減少。(バイオサイエンス)(101)も前年度大幅減少の反動はなく、前年度並。

<共通テスト利用方式>

- 国際食料情報(122)は、大幅増加。志願者数は2年ぶりに1,000人を上回った。ただし、新規実施の<共テ・前期2科目型>を除くと、(70)大幅減少。学科別では、4学科中3学科が増加。特に(国際農業開発)(240)は2.4倍増だが、新規実施の<共テ・前期2科目型>を除いても(125)と前年度半減以下の反動で大幅増加。
- 地球環境科学(97)はやや減少で3年連続減少。さらに、新規実施の<共テ・前期2科目型>を除くと、(60)の大幅減少。学科別では、(森林総合科学)(132)は大幅増加。他の3学科はいずれも減少。特に(生産環境工)(84)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、新規実施の<共テ・前期2科目型>を除くと半減、(造園科学)(84)は2年連続大幅減少。
- 農(131)は、大幅増加。志願者数は2年ぶりに2,000人を上回った。ただし、新規実施の<共テ・前期2科目型>を除くと、(84)の大幅減少。学科別では、4学科とも増加。特に(動物科学)(170)、(生物資源開発)(125)、(農)(121)は大幅増加。
- 生物産業(135)は、大幅増加。志願者数は2年ぶりに500人を上回った。ただし、新規実施の<共テ・前期2科目型>を除くと、(79)の大幅減少。学科別では、3学科とも大幅増加。
- 応用生物科学(92)は、前年度大幅減少の反動はなく減少。さらに、新規実施の<共テ・前期2科目型>を除くと、(73)の大幅減少。学科別では、(栄養科学)(103)はやや増加、その他の3学科はいずれも減少で、特に(農芸化)(85)は2年連続大幅減少。
- 生命科学(77)は2年連続大幅減少。さらに、新規実施の<共テ・前期2科目型>を除くと、(66)の大幅減少。学科別では、(分子微生物)(66)、(バイオサイエンス)(74)はいずれも2年連続大幅減少。(分子生命化)(89)は3年連続減少。